

# 発刊にあたって

私たちのまち「鎌倉」には、とても長い歴史があります。  
鎌倉市として歩み始めたのは昭和14年ですが、これは鎌倉の長い歴史の中では、ほんの一部分にすぎません。

それでも私たちは、この間ずっと、先人たちから受け継いできた歴史や文化、豊かな自然や美しい景色を大切に守りながら、その時代ごとの課題と向き合い、市民の皆さんがよりよく暮らせるまちづくりを進めてきました。

今の鎌倉には、歴史と自然が息づき、人と人とのつながりがあり、全国や世界から多くの人に愛される魅力があります。

この「今の鎌倉の素晴らしさ」は、偶然できたものではなく、これまで積み重ねてきた努力の結果です。

そして、この今を大切に育て、少しずつ積み上げていくことが、これからの輝かしい未来につながっていくと、私は信じています

一方で、テクノロジーの進化により私たちの暮らしは大きく変わり、人口減少や地域のつながりの変化、地震や豪雨などの災害、気候変動への対応など、まちを取り巻く環境も大きく変化しています。

これから先も、その変化はさらに速くなることが予想されます。

このような時代だからこそ、先人たちの「鎌倉への愛」と「努力」によって築かれてきたこのまちを、しっかりと次の世代へ引き継いでいかなければなりません。

そして、未来を担う子どもや若者が、鎌倉に誇りと希望を持てるまちをつくっていくことが大切です。

そのために、30年ぶりに総合計画を見直し、新たな基本構想「鎌倉ビジョン2034」と基本計画「鎌倉ミライ共創プラン2030」を策定しました。

この計画のもと、鎌倉が世界に誇れる持続可能なまちであり続けられるよう、全力で取り組んでまいります。

本計画の策定にあたり、多くのご意見をお寄せいただいた市民の皆様に、心より感謝申し上げます。

令和8年（2026年）4月

鎌倉市長 松尾 崇

